第24回 一乃会

芭蕉

花も千草もちりぢりになれば
芭蕉は破れて残りけり

日時 令和6年11月2日（土）
午後2時開演（午後1時30分開場）

会場 神楽坂・矢来能楽堂

仕舞
身延（クセ） 観世 喜正
杜若（キリ） 観世 喜之

狂言
栗焼 野村 万作

能
芭蕉 鈴木 啓吾

企画・主催：一般社団法人一乃会／協力：公益社団法人観世九皐会
助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【東京ライブ・ステージ応援助成】

ご挨拶

お釈迦さまが最後に説かれたという『涅槃経』。そこに記された「一切衆生悉有仏性」という言葉。一切の衆生が仏性（仏となる種）を持っているという考えが日本に入った時、ありとあらゆるものに精霊を見出すアニミズムの日本の気候風土の中で、「衆生」の解釈は「人間」のみならず「草木国土」にまで広がりをみせました。

平安時代以降、草木の成仏の根拠となったのは、『涅槃経』経由からの『妙法蓮華経』の薬草諭（喩）品第五の解釈でした。

『妙法蓮華経』の功徳により、芭蕉の精霊が悟りの確信を得て風に揺蕩う、そこはかとない風情を表現できたら……と思います。

私の師匠である観世喜之・喜正 師の仕舞に続き、御狂言は野村万作先生の至芸『栗焼』でございます。その後に私の能『芭蕉』を……。少しばかり長々とした演目ではございますが、ごゆるりと御高覧賜りますれば何より幸いに存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

鈴木啓吾　拝

番組

仕舞　**身延**（クセ）　観世 喜正

杜若（キリ）　観世 喜之

地謡　金子仁智翔　小島 英明　佐久間二郎　筒井 陽子

狂言　**栗焼**

太郎冠者　野村 万作

主　内藤 連

後見　岡 聡史

休憩二十分

能　**芭蕉**

シテ　鈴木 啓吾

ワキ　舘田 善博

間　石田 幸雄

大鼓　白坂 信行

小鼓　田邊 恭資

笛　松田 弘之

後見　遠藤 喜久　中森 貫太

地謡　石井 寛人　坂 真太郎　奥川 恒成　奥川 恒治　中森健之介　観世 喜正　桑田 貴志　永島 充

（終演予定時間 午後五時頃）

事前講座にも！　解説と朗読、素謡で謡曲を楽しむ

「ことのはかぜ」芭蕉編

◆令和6年10月26日(土)午後2時開始

◆遊楽スタジオ（新宿区改代町18−BF１）

◆参加費：二千円（要予約）

一乃会　検索

■仕舞『身延』

身延山で『法華経』を読誦、勤行する日蓮上人のもとに日々参堂する一人の女人は、既にこの世に亡き人の霊であった。女人は日蓮上人の御法、『法華経』の功徳を礼賛し、草木国土悉皆成仏の霊地、身延の山を讃える。

■仕舞『杜若』

東国行脚の旅の僧が三河国（愛知県）八橋に立ち寄り、沢辺に美しく咲く杜若を眺めている。そこへ現れたのは杜若の精霊であった。在原業平の冠、藤原高子の后の唐衣を身に纏った杜若の精霊は『伊勢物語』の故事を語り、歌舞の菩薩である業平の歌に花の名を詠まれた事で、草木の身ながらも成仏できた喜びを謡い舞う。

■狂言『栗焼』

貰いものの四〇個の栗を焼くよう主人から命じられた太郎冠者。苦心しながらもすべてを焼き、皮を剥く。ところが、あまりに見事な栗なので、ついつい手がでてしまい…。シテの独演が見どころの作品。

■能『芭蕉』

所は中国、楚の湘水の山中。山居し日夜『法華経』を読誦する僧（ワキ）のもと、夜毎庵の外に聴聞に訪れる人の気配の正体は一人の女人であった。

その夜も月明かりの中に庵を訪れた女人（前シテ）。その信心、志の深さに庵の中に入ることを許された女は『法華経』により女人や草木までもが成仏できる謂れを尋ね、自らが人間でないことを明かして姿を消す。（中入）

庵を訪れた里人（アイ）の話に、芭蕉の精が仮に女の姿となって現れたのだと悟った僧が、尚も『法華経』を読誦していると芭蕉の精霊（後シテ）がその姿を現す。形を超えた真実の姿や、ミクロの世界に宿る広大無辺の仏の心、それらがこの地上世界に具体的な形となって現れ、雨・露・霜・雪の折々に諸法実相の姿を見せているのが、非情といわれる草木の姿であると述べつつ月下に舞を舞う。

茫々と風の吹き荒ぶ古寺の庭。いつしか女の姿は消え、破れた芭蕉の葉ばかりが揺れていた……。

観世喜之

観世流シテ方能楽師
（公社）観世九皐会 理事
（公社）能楽協会 会員
重要無形文化財（能楽総合）指定保持者

観世喜正

観世流シテ方能楽師
（公社）観世九皐会 理事長
（公社）能楽協会 常務理事
重要無形文化財（能楽総合）指定保持者

野村万作

和泉流狂言方能楽師
重要無形文化財（各個指定）指定保持者
文化功労者
日本芸術院会員

鈴木啓吾
Keigo Suzuki

観世流シテ方能楽師
（公社）観世九皐会 理事・（公社）能楽協会 会員
重要無形文化財（能楽総合）指定保持者
一般社団法人一乃会 代表理事・遊楽スタジオ 代表
三世観世喜之・観世喜正に師事。観世九皐会、緑泉会での演能活動の他、研究公演「一乃会」、能と講談で楽しむ「ことのは能」を主宰。2005年より能楽普及イベント「ことのはかぜ」「古典をことばで旅することのはかぜ」等の企画・主催。著書：「能のうた」「続・能のうた」（ともに新典社刊）

2024年11月2日（土）午後2時開演（午後1時30分開場）

神楽坂・矢来能楽堂　東京都新宿区矢来町60番地

〈チケット・一般発売日〉 2024年 8 月 2 日(金)

●お申込み・お問合せ

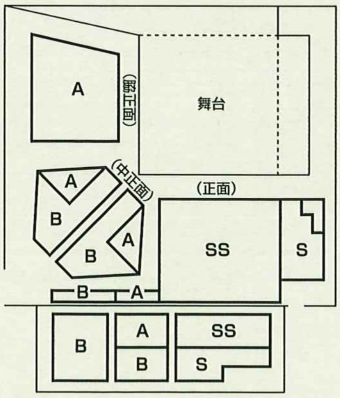
一乃会　鈴木啓吾

〒162−0802 新宿区改代町18 B1F 遊楽スタジオ内
TEL：03−3269−7018(平日・10時〜18時対応)
FAX：03−3269−7018
E-Mail：yugaku_studio@yahoo.co.jp
ホームページ：http://ichi-no-kai.jp

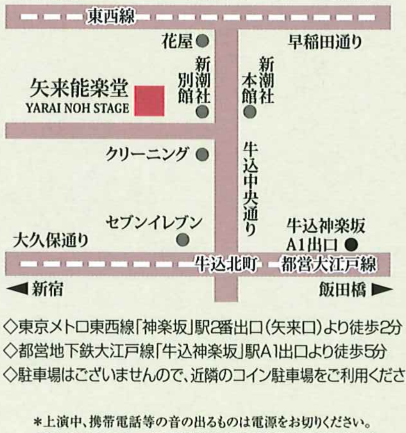
カンフェティ Confetti
http://confetti-web.com

*ご予約前に、観劇ポータルサイト「カンフェティ」への会員登録（無料）が必要となります。
*お支払いは、クレジットカード決済か、セブン－イレブン店頭払いよりお選びいただけます。
*セブン－イレブンへの発行手数料がかかります。

矢来能楽堂座席表



SS 7,000円／S 6,000円／A 5,000円／B 4,500円／学生（B席の一部） 3,000円（税込・全席指定）



◇東京メトロ東西線「神楽坂」駅2番出口（矢来口）より徒歩2分
◇都営地下鉄大江戸線「牛込神楽坂」駅A1出口より徒歩5分
◇駐車場はございませんので、近隣のコイン駐車場をご利用ください。

*上演中、携帯電話等の音の出るものは電源をお切りください。
*事前に許可のない、写真撮影・録音・録画は固くお断り致します。
*公演中止のほかは、払い戻し致しません。
*お申込み後の御席の変更、キャンセルは致しかねます旨ご了承ください。